◇2024年 年頭所感

各団体 年頭所感

県民の安全・安心の守り手として

佐賀県建設業協会会長　松尾 哲吾

あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、「令和5年7月九州北部豪雨災害」が発生しました。

停滞する梅雨前線に向かって暖かく湿った空気の流れ込みが続き、九州北部地方では前線の活動が活発となって広い範囲での大雨でした。

特に、福岡県や大分県で大雨特別警報が発表される事態となるなど、7月10日未明から昼前にかけて、佐賀県も含めた各地で線状降水帯が発生して、複数の観測地点で観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となりました。

佐賀県内の被害では、唐津市で3名の方が亡くなられ、佐賀市、唐津市や神埼市などの山間部を中心に家屋の倒壊や浸水、公共土木施設の被害で約160億円、農地等被害などで約200億円の大きな被害が発生しました。

改めまして、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

また、昨年8月末、九州第一号となる豚熱が、2例立て続けに唐津市で発生し、約1万1千頭の埋却完了には3週間以上を要する困難な事例でした。

さらに、昨年11月には、今季全国初となる鳥インフルエンザが鹿島市で発生し、約3万8千羽を殺処分し、その後で焼却処分するという特殊な事例でした。

いずれの防疫活動も、発生地の唐津支部と藤津支部が中心となり、他の全支部からも派遣・協力をして、防疫協定に基づいた対応に従事いただきました。改めて、各支部並びに会員各位に心よりの敬意と感謝を申し上げます。

さて、地方の中小建設業を取り巻く環境につきましても、依然として厳しい状況が続いており、特に、事業量の地域間格差や企業間格差は年々拡大し、地方の景気低迷と経済的格差を増大させ、地方の基幹産業である建設業にも大きな影響を与え、地域の災害対応にも不安が生じています。

こうした中、国においては、「5か年加速化対策」に基づき、激甚化・頻発化する自然災害や、老朽化するインフラ等への対策が推進されているところであり、また、「5か年加速化対策」後も、継続的・安定的に国土強靭化を推進するため、6月に国土強靭化基本法が改正され、「国土強靭化実施中期計画」の策定が法定化されました。

今後、早期に「国土強靭化実施中期計画」が策定され、必要かつ十分な事業量を確保がされていくことを期待しています。

私たち地方の中小建設業が、将来を見通し、働く人たちの処遇を改善し、担い手を確保・育成していくためには、中長期にわたる安定的・持続的な事業量の確保が必要不可欠です。

また、工事完成時期が年度末に集中することを避けるために、債務負担行為や繰越などの制度運用が拡大されてきていますが、建設業における働き方改革や経営の安定化を一層推進していくためにも、発注の平準化から施工時期の平準化へとつながるそうした取組が、今後、さらに多くの県内自治体へと広がっていくことを期待しています。

私たちは、今年も、このような環境変化やICTの利活用、規格の標準化等時代の流れに適切に対応していくとともに、社会資本の整備や維持管理はもとより、国や県等の災害、防疫対応活動への協力等県民の皆様の安全・安心の守り手として、これまで同様にしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

皆様方には、本年も、一層の御支援、御指導をお願い申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

更なる佐賀の道路づくりを目指して

佐賀県舗装部会会長　中島 信哉

新年明けましておめでとうございます。令和6年度の新春を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は佐賀県舗装部会に対し一方ならぬご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年同様今年も多くの災害に見舞われました。7月に唐津市七山での大雨災害、8月に唐津市で発生した豚熱・11月に鹿島市で発生した鳥インフルエンザと今年も多くの災害に見舞われましたが、どの災害に対しても建設業者が一早く対応を行っています。対応に従事した各支部並びに会員各位に感謝申し上げます。

我々会員は地域の守り手として今後も災害対応行いますが、来年4月からの働き方改革に伴う罰則規定開始・担い手確保・離職者対策等取り組むべき多くの問題を抱えています。経営の安定化のためにも工事量の平準化、発注時期、適正工期、書類の簡素化へのご理解とご協力をお願い申し上げます。また国・県は週休二日制の発注ですが、市・町および民間工事について、週休二日制の発注ではありませんので、国の働き掛けによる発注形態の早期統一を期待したいと思います。

県内の道路整備状況は、有明沿岸道路諸富IC～嘉瀬JCT間の延伸、佐賀唐津道路嘉瀬IC～北部バイパス間の延伸、国道497号（西九州自動車道）東府招～伊万里市内間の延伸、国道3号線拡幅工事などが行われており、早期の開通・完成が待たれます。我が国を取り巻く円高・物価高騰も相まって、建設業の経営環境は先行き不透明な状況が続いておりますが、更なる公共工事予算の確保をお願い申し上げます。

我々舗装部会としましても、若手技術者確保のための中学生・高校生のインターンシップ実施や働き方改革に繋がるICT施工の積極的な採用、安全教育・技術講習・資格取得の勉強会など、若き技術者の育成に力を注ぐとともに、働き方改革対策としての建設ディレクターの養成なども行います。

今年は佐賀県でSAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。大会メイン会場の佐賀アリーナも完成し、いよいよ大会に向けた準備が始まります。全国から来られた多くの選手・関係者の皆様に、佐賀の道路は綺麗に整備されていると思って頂けるように、舗装部会員一同努力してまいります。

最後になりますが、私たち佐賀県舗装部会は今後も道路を通じて安心・安全な佐賀の資本整備に貢献してまいります。2024年が明るい年でありますように、皆様方のご健勝・ご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

佐賀県舗装部会

会長 中島 信哉

副会長 江頭 一樹
副会長 峰 一智

［会員一同］

今泉建設㈱
笠原建設㈱
㈱シラ中建
㈱野平建設
㈱エスイーコーポレーション
唐津土建工業㈱
黒木建設㈱
成和建設㈱
㈱西九州道路㈱
富士田建設㈱
牟田建設㈱
㈱山口建設
㈱大島建設
㈱岸本組
㈱坂口組
中島工務店
日出島建設
政工務店㈱
㈱岡村建設
㈱栗原建設
㈱修徳建設
中野建設
平尾建設
松川建設㈱
山崎建設㈱
㈱設道組㈱組
設設建舗業
建建山シイ設峰

【事務局】
〒840-0041佐賀市城内2-2-37 佐賀県建設会館3F
TEL0952-29-8010